

こもれび・komorebi・木もれ日

木もれ日

総合建設
株式会社 日向建設 ひゅうがけつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
http://hyuuga.co.jp どこまでが夢ですか
TEL 0467 (47) 5454 FAX 0467 (44) 0303



今月の
特集!!

しっかり調査して“地盤を固める” 『地盤調査』で安心の家づくり

～スウェーデン式サウンディング試験～

『地盤』こそ、快適なマイホームの第一歩

「地盤を固める」という言葉があるように、『地盤』という言葉には、物事の基礎・出発点という意味があります。
どんなにいい家を設計しても、どんなにいいマンションを購入しても、その土地の『地盤』が弱ければ、『家』という財産は音を立てて崩れてしまいます…。
安心して家を建てられるように、前もって地盤調査をすること、それは、家づくりの基本といえます。
今回は、よくある質問に回答する形で『地盤調査』について考えてみましょう。



しっかりした建物をつくるには、まず頑丈な地盤が必要！マイホームを建てるとき、必ず建築地の地盤状況を把握しておきましょう。
(道路から見たH邸の土地)



スウェーデン式サウンディング試験を行っている所です。5キロのクランプテーブルに10キロの重りを2枚、25キロの重り3枚を順に載せて、自沈するかを調べます。

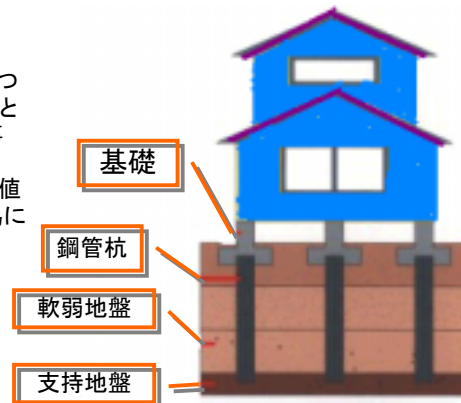
「軟弱な地盤だと、何が良くないのでしょうか？」

地盤に関する問題は、『不同沈下』と『地耐力』がほとんどです。
地盤の弱い土地に家を建てると、完成後しばらくして、家が傾いてくることがあります。これを『不同沈下』といいます。不同沈下は、敷地の地耐力(地盤が建物の重さを支える力)の違いや、建物のバランスの悪さ(重さの偏り)などが主な原因です。

「地盤の良し悪しで資産価値が変わりますか？」

地盤の良し悪しは、敷地の価値の決め手のひとつにもなります。土地を売買するときや建物をつくる際には、地盤調査を行い、報告書を用意しておく事が大切になってきます。
地盤の不具合を未然に防ぎ、大切な住まいの価値を損ねないように、また、大切な個人資産を守る為にしっかりと調査し、確認しておきましょう。

▼軟弱地盤な土地に建築する一例



パイプの余った部分を切り取り、地盤補強が完了した所



今月2日から工事の始まった、青葉区のH邸も30数年前に造成された住宅地だったので、かなり地盤も落ち着いていると思われました。しかし調査の結果、地盤改良の必要があるという報告があり、お客様と打合せの末、改良工事をする事になりました。

「改良工事はどのように行われるのですか？」

まず、『スウェーデン式サウンディング試験』で調査をしました。地盤の硬軟や土質を基準に、解析・判定をして報告書が作成されます。地盤が悪いとなると再調査を行いその判定結果に基づき、地盤改良工事を行います。H邸では、厚さ4.5mm直径114.3mmの丸パイプを支持地盤まで66本打ち込みました。道路面の方は、1.5m位で打ち止まり、奥の方では、9m近くまで入りました。同じように見える土地でも、場所により硬さは違うのです。
(現在の建築基準法では、地盤調査を行なうように定められています)



地面にピンを打ち込み再調査している所



地面に打ち込むパイプ



～木と土と草、そして現在の家～ ～「自然素材」を家の材料として生かすということ～

例えば、あなたがマイホームの床に、憧れの「天然木」を使用したフローリングを選んだとします。ところが、その仕上げ塗料に、化学塗料を使用したとします。これではせっかくの木もつ湿度調整効果などが期待できません。果たしてそれが「自然素材の家」といえるでしょうか？ しかし一方で、化学塗料には「防虫効果」や「仕上げの美しさ」などの利点もあります。

私達は、「単に自然素材を使えばいい」という考え方ではなく、それぞれの素材の長所・短所を理解した上で、自然素材のよさを皆さんにお伝えできればと思います。

①自然素材としての「木」
いろいろな種類の木があり、多くの建材として利用されます。種類によっては、耐水性・芳香性に富み、木肌も良いため、構造材・化粧材に多く使用されます。



②自然素材としての「土」
昔は「壁」の材料として一般的でしたが、今ではあまり見かけなくなりました。木と同様に湿度を調節する作用があります。また、屋根瓦(かわら)も「土」でできており、断熱、防音性も良いのが特徴です。重厚で風情があり、最近また人気が出てきた材料です。しかし、土壁も瓦も重量があるため、地震対策が必要です。



③自然素材としての「草」
「草」は、昔はよく茅葺き屋根などに使われていました。「藁(わら)」や「い草」は量の原料なので、身近な原料ですね。吸音・調湿作用があります。素材の香しさも体に好影響といわれます。

木も土も草も自然素材です。これらを家の建材として使用するには、色々な工夫が必要です。例えば、そのままだと燃えやすい素材は、燃えにくい材料にすることが必要です。「防音や断熱気密性、大地震の時に倒壊しない家になりたい」などを考えた場合は、自然素材をそのまま使っただけでは、家としての機能性や快適さが失われる場合があるかもしれません。

日向建設では『自然素材の使用について』あらゆる工夫を施し、できるだけ皆さんのご希望にあった形で考えていきたいと思っています。私達が住む街に、健康で快適な生活を営める家がたくさ

花すだれで夏を涼し

いよいよ梅雨の時期がきました。湿気が多く蒸暑い日が続くかと思うと憂鬱になってしまいますね。そんなときは、「花すだれ」で涼をとってみませんか？

「花すだれ」は、夏に咲く一年草で仕立てます。一年草なら、夏の間は暑い日差しを遮ってくれ、日光を取り入れたい冬場は枯れるからです。しかもこの花すだれ、葉から蒸発する水分のため、そこを通る風を涼しくする役目もあります。いちばん知られているのは、やはり「アサガオ」です。他にも、小さい紙風船のような薄緑の葉が可愛い「フウセンカズラ」なども楽しく観賞出来るでしょう。ちょうど今の時期に花の種をまくと、暑い盛り窓際に美しい日よけとなってくれますよ。

フウセンカズラ

マイホーム学院课外授業

6月8日(日)鎌倉マイホーム学院第四期生による、课外授業が行なわれました。心配された天候でしたが日の光が眩しいくらいの良い天気になりました。

新緑の鎌倉を散策しながら(楽しみにしていた紫陽花がほとんど咲いていないのが残念でした)、お寺や古い建物・建築中の現場などを見学しました。実際の建物を見ながら具体的に説明することができたので、解り易かったのではないかと思います。

お昼は、前にニュースレターでも紹介した事のある創作和料理「近」で、日本料理を楽しみました。

自分達の身近な町
ゆっくりと散策してみ
と楽しい出会いや思

知っ得マメ情報!

■子供が家具にペンやクレヨンでらくがきをしたら、どうしたらいい?

木油(蜜ろう)をスコッチブライトに取り、汚れた部分の木目に沿って擦ると汚れが浮いてきます。それを乾いた布で拭き取って下さい。15～20分経ってから、からぶきをすると仕上げのつやが違いますよ。

※スコッチブライトは、糸状の繊維に研磨剤が塗ってある構造の布です。100円前後から購入できます。

■編集後記

風薫るさわやかな季節に、時季外れの台風が来たり、東北地方で大きな地震があったりと思いがけない出来事に驚きましたね。私達が生活していくうえで、自然とのかかわりは切り離せません。今月の特集の『地盤』も、昔からの土地の形成が基になっています。普段はあまり気にかけない土地(地盤)ですが、家づくりの一番大切な部分です。地盤調査をしっかり行ない、必要があれば地盤改良し、皆さんが生涯を通して安心して住み継いでいける家をつくって行きましょう。地盤調査に関してのお問い合わせなどもお気軽に